

ヤヌシユ・

コルチャツクの

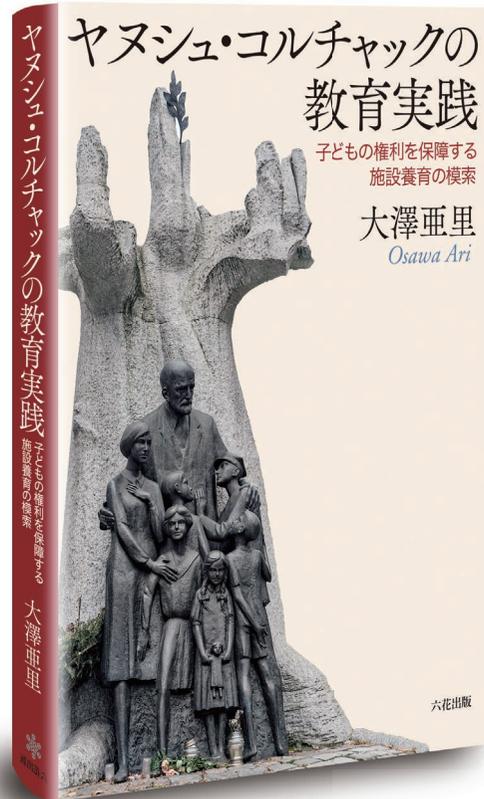
教育実践

子どもの権利を保障する 施設養育の模索

大澤亜里 著

ポーランドの小児科医、教育者でありながら、
ナチス・ドイツのホロコーストの犠牲となった、
ヤヌシユ・コルチャツクの教育実践を詳細に検証！

本書は「子どもの権利」という
概念の先駆者＝コルチャツクの、
孤児院ドム・シェロットや
ナシュ・ドムにおける
教育実践や残された書物から、
氏の思想形成や深化を捉え直し
児童保護の歴史のなかに
位置づける意欲作！



電子書籍版も同時刊行！

詳細は弊社HPをご覧ください

本書を推薦します

本書は、ポーランドのヤヌシユ・コルチャツク（一八七八―一九四二）の社会的養育事業・施設での教育実践を主題にした歴史の実証研究である。従来我が国では、この人物の子どもの権利条約成立史とのつながりから、その子どもも観や子どもの権利に関する思想的アプローチが盛んな研究対象であったが、思想の源泉としての教育実践という立場から遠回りして挑んだ研究成果である。

何よりも現地で留学時に触れた伝記的研究やコルチャツク全集はもとより関連する歴史研究書、社会福祉・教育史研究書、また当時の関連各種雑誌、そして、所属団体の年次報告書など、最大限可能な限りの文献調査・収集

塚本智宏（札幌国際大学教授）

にあたりこれらを利用して研究を組み立て叙述に厚みを加えている。若き小児科医時代のボランティア活動から二つの孤児院へと向かう凡そ三〇年間を対象に、有名な「仲間裁判」を含む子どもたちの自律的自治活動を創造する多様な教育実践と活動の総体が解明されている。

一〇〇年近く前の同国厚生省主催の養護施設職員向け研修で彼は、職員が「子どもの権利擁護官」となり、子どもの権利リストの実現を任務とすべきと訴えていたことが最近わかったが、本書は、それが彼の教育実践を土台として成立したものと教えてくれる。広く教育・福祉の仕事に関わる方にぜひ読んでいただきたい一冊です。

定価4,200円+税
(税込4,620円)
体裁：A5判・上製
270ページ

ISBN978-4-86617-161-6

2022年
2月刊行！

注文カード

帖合・書店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊

発行 六花出版 大澤亜里 著

ヤヌシユ・コルチャツクの教育実践

子どもの権利を保障する施設養育の模索
定価 4,620円(税込) ISBN978-4-86617-161-6

お名前

電話番号

注文 年 月 日

*小社は注文制です。お近くの書店にご注文ください。
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話 03(3293)8787 FAX 03(3293)8788 電子メール info@rikka-press.jp

目次

序章

先行研究の整理と本書の課題

はじめに

1. ポーランドおよび日本のコルチャック研究
2. コルチャックの教育実践に関する研究の到達点と課題
3. 本書の課題と方法

第1章

青年コルチャックの実践経験と教育思想の形成(1912年以前)

はじめに

1. サマーキャンプでの教育実践
 2. コルチャックが理想とした学校・教育——「生活の学校」(1907-1908年)から
- 小括

第2章

孤児院ドム・シエロットの設立(1912年)

はじめに

1. 19世紀後半から20世紀初頭におけるワルシャワの児童保護
 2. ドム・シエロット設立に至るまで
 3. ドム・シエロット開設に際して
- 小括

第3章

ドム・シエロット開設後の教育実践

——多様な教育方法の試みとその実際(1912-1920年)

はじめに

1. 第一次世界大戦期におけるワルシャワの児童保護
 2. 孤児救済協会による孤児および貧困家庭の子どもへの保護
 3. ドム・シエロットの教育方法とその実際
- 小括

第4章

独立国家ポーランドにおける

ドム・シエロットの教育実践の展開(1921-1928年)

はじめに

1. 独立国家ポーランドにおける児童保護
 2. 孤児救済協会の児童保護活動
 3. ドム・シエロットの教育体系の発展
- 小括

第5章

孤児院ナシュ・ドムの教育実践(1919-1928年)

はじめに

1. マリア・ファルスカと孤児院ナシュ・ドム
 2. ナシュ・ドムの教育体系
- 小括



第6章

ドム・シエロットの危機と教育実践の継続(1929-1939年)

はじめに

1. 児童保護分野における経済危機の影響
 2. 孤児救済協会の事業縮小とドム・シエロットの運営
 3. 「労働」の継続
 4. ドム・シエロットの教育実践に対する評価
- 小括

終章

コルチャックの実践の変遷とその背景

——本書で明らかになったこと

1. コルチャックの教育実践の変遷と思想の深まり
2. ドム・シエロットの教育実践を可能にした孤児救済協会の運営
3. ポーランド・ワルシャワの児童保護とコルチャックの思想および実践

補論

ドム・シエロットの教育実践と

コルチャックの子どもへの権利思想

はじめに

1. 「個人としての子どもの権利」の講義概要
2. ドム・シエロットの教育実践と子どもの権利保障

子どもの生活を守ることと子どもの権利を守ること——あとがきにかえて

引用文献・参考文献

初出一覧

索引



著者紹介

大澤亜里 (おおさわ あり)

2005年 お茶の水女子大学卒業、その後ヤギェウォ大学でポーランド語を学ぶ
 2010年 ワルシャワ大学教育学部一般教育学専攻 修士課程修了
 2018年 北海道大学大学院教育学院教育社会論講座 博士後期課程修了 博士(教育学)
 現在 札幌大谷大学短期大学部保育科 准教授
 主な研究テーマは児童福祉史、子どもの権利